

# 中津川市地域医療実習 感想文

名古屋 大学 2 年生 氏名 鈴木寛子

私はこの実習のことを、大学の LINE グループで紹介されてるの見て知りました。地域医療も興味のある分野の一つだったので関心を持ちましたが、まだ医学的知識が乏しいのと知らないところに一人で行くのが少し不安だったためしばらく悩みました。しかし、次の機会に都合が合うかわかりませんでしたし、何事も経験だと思って申し込むことにしました。実習までの手続きや実習の流れについてもとても丁寧に説明していただけて本当にありがたかったです。

実習では訪問看護や川上診療所やデイサービスや発達支援センターを見学させていただきました。私は名古屋在住のため家の近くに診療所はなく、今回初めて診療所での診療を知ることになりました。診療所での診療は大学病院等の大きな病院のものに比べると一人一人の患者さんにかかる時間が長いなと感じました。また、カルテにはその患者さんの家族のことや普段の生活の様子についての記載も見られ、疾患だけではなく全人的に診ているのだなあと感じました。

また、発達支援センターでは午前中に未就園児のクラスが、午後に就園児のクラスがありその両方に参加させていただきました。先生方がお子さんの個性に合わせて授業を工夫されててすごいなあと感じました。あと、未就園児のクラスが終わった後にお母様方とお話しする機会がありました。実際に重度の障がいを持つお子さんを育てていく中で苦労なさってる点についてなどを伺うことができとても勉強になりました。

今回の実習を通じて、自分の勉強不足を痛感しました。また、私は質問をしたり自分から動いたりすることが苦手で一步引いてしまいがちであると感じたので、これから先少しずつ改善していきたいと思いました。実習中には本当にいろいろな方にお世話になりました。今回学んだことを生かして、将来社会に貢献できる医師になりたいと思いました。本当にありがとうございました。